

(様式第4号)

上田市総合計画審議会（第2回全体会） 会議概要

1 審議会名	上田市総合計画審議会（第2回全体会）
2 日 時	令和元年11月5日 午後1時30分から午後2時35分まで
3 会 場	市役所本庁舎 6階 大会議室
4 出席者	城下敦子会長、中村彰副会長、安藤健二委員、浦部秀幸委員、小熊弘子委員、小駒はるみ委員、小池文彦委員、重野靖委員、増澤延男委員、間藤まりの委員、丸山理英子委員、山極一雄委員、内堀敏高委員、岡田忠夫委員、関川久子委員、高橋伸英委員、田中利喜夫委員、樋口盛光委員、藤川まゆみ委員、水出秀子委員、宮入一枝委員、宮下勝久委員、宮島博仁委員、矢島昭徳委員、今井慎一郎委員、岡崎美都里委員、田島裕志委員、花岡欣二委員、宮下正明委員、柳島隆二委員、山崎孝子委員、和田宏一委員、春日晋委員、熊井健二委員、小池純子委員、佐藤永寿子委員、高柳静委員、田畑裕康委員、鳥羽泰之委員、宮之上孝司委員、宮本恵美委員、母袋卓郎委員、葺山永子委員、坂口純一委員、高見澤津久美委員、滝沢博俊委員、竹田貴一委員、中澤武委員、中澤照夫委員、原有紀委員、間島博徳委員
5 市側出席者	吉澤上田市政策研究センター長、柳原政策企画部長、中村総務部長、山口財政部長、小宮山市民まちづくり推進部長、山口生活環境部長、近藤福祉部長、小林健康こども未来部長、大矢商工観光部長、工藤農林部長、藤澤都市建設部長、越消防部長、竹花丸子地域自治センター長、山崎真田地域自治センター長、石井武石地域自治センター長、柏木上下水道局長、中澤教育次長、鎌原政策企画課長兼学園都市推進室長、鳴澤政策企画課企画調整政策幹、小野沢総務課長、倉島財政課長、宮澤市民参加・協働推進課長、柳沢生活環境課長、小坂福祉課長、室賀健康推進課長、宮島商工課長、小井戸農政課長、馬場管理課長、佐藤消防総務課長、滝沢丸子地域自治センター次長兼丸子地域振興課長、塚田真田地域自治センター次長兼真田地域振興課長、金子武石地域センター次長兼武石地域振興課長、城下経営管理課長、石井教育総務課長、中村上田市政策研究センター政策研究担当係長、中山政策企画課政策企画担当係長、加々井政策企画課政策企画担当係長、宮原政策企画課政策調整担当係長兼学園都市推進室学園都市推進担当係長、横沢総務課給与厚生担当係長兼人事組織担当係長、堀内財政課財政担当係長、伊藤市民参加・協働推進課地域内分権推進担当係長、松木生活環境課生活安全担当係長、櫻井福祉課生活支援担当係長兼プレミアム付商品券事業担当係長、町田健康推進課保健予防担当係長、水野商工課産業企画係長兼商工振興担当係長、西川農政課農業振興係長、両角管理課庶務係長、齋藤消防総務課総務担当係長、金井丸子地域振興課地域政策担当係長、宮崎真田地域振興課地域政策担当係長、坂部武石地域振興課地域政策担当係長、青井経営管理課庶務係長、西澤教育総務課企画担当係長、原政策企画課主査、田中政策企画課主査、藤森総務課主任
6 公開・非公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開
7 傍聴者	1人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	令和元年11月11日

## 協 議 事 項 等

### 1 開会（柳原政策企画部長）

### 2 会長あいさつ（城下会長）

### 3 議事（以降進行：城下会長）

#### （1）第1回部会で出された質疑等について

- ・資料に沿い、鎌原政策企画課長から第1回部会で出された質疑等について説明
- ・質疑等なし

○協議結果：事務局の説明のとおり進めることで承認いただいた。

#### （2）市民アンケート調査結果【確定版】について

- ・資料に沿い、加々井政策企画担当係長より市民アンケート調査結果【確定版】について説明
- ・以降、質疑応答

（委員） 1点目として、アンケートは「郵送あるいはWEBによる回答」にて実施したが、WEBによる回答を実施した目的は何か。また、今回のアンケートではその実施目的が果たされていると考えられるか。

2点目として、マトリックス分析において、「今後重点的に取り組むべき施策分野」として、「重要度は高いが、満足度は低い」項目のうち「子育て支援の充実」については、施策に関わる回答内容が詳細に記述されている。しかし、「教育内容の充実・人的体制の向上」の内容に関わる記述はない。調査は行われていないのか。

3点目として、同じくマトリックス分析において、「重要度は高いが、満足度は低い」政策項目を重点的に取り組んでいくことには理由があると思われるが、一方でこうした政策決定の方針は、SDGsの考え方に基づく「「バックキャスティング思考\*」により事業の構築を行う」とする後期まちづくり計画策定方針に整合するかどうか疑問がある。実際、p25「図表36」では、「中小企業・地域産業」「創業・起業」等の働く場づくりに関わる産業課題、「学校教育」「地域の人材育成」等の次世代育成課題、「市町村連携」「地域コミュニティ」「男女共同参画」等の地域生活課題、「学校づくり」「文化財」「文化・芸術」などの精神文化育成課題などの項目が、「重要度・満足度ともに低い」あるいは「重要度は低いが、満足度は高い」項目として分類され、「図表37」の今後優先的に取り組むべき施策分野としては取り上げられていない。「都市将来像の実現に向けたまちづくりの基本的な考え方」を「基本理念」とする総合計画の実現を目指すのであれば、市民の不満解消といういわば問題を解消するという姿勢だけではなく、積極的に未来像を打ち出し実現への市民協働を盛り上げるような姿勢が必要ではないか。

（事務局） 1点目について、時間に捉われず回答可能であると考え、今回初めてWEBによる回答方式を取り入れた。具体的に何名から意見を聴取するという目標は設定しておらず、できる限り回答率を上げて多くの市民の意見を反映したいと考えている。

2点目について、アンケート調査を行う上で、満足度・重要度という調査項目は、前回比較を行う必要がある。また、前期まちづくり計画の中にも指標が設定されている。このため、前回とほぼ同様の内容とした。これに加え、子育て支援の充実については、庁内で検討する過程の中で、政策に反映していく必要があると判断し、かつ、市長の思いもあり、個別に特化した形で調査した。

3点目について、総合計画の考え方として、まず、市民が満足していない問題を解決していくという考え方がある。また、SDGsの考え方として将来を見据えどうするか考える「バックキャスティング思考」に基づく部分もあると考える。今後、両方の考え方をもって審議していただきたい。

○協議結果：事務局の説明のとおり今後の審議に活かすことで承認いただいた。

(3) 主な社会指標について

- ・資料に沿い、加々井政策企画担当係長より主な社会指標について説明
- ・質疑等なし

○協議結果：事務局の説明のとおり今後の審議の参考とすることで承認いただいた。

(4) 上田市の現状と将来ビジョンについて

- ・資料に沿い、中山政策企画担当係長より上田市の現状と将来ビジョンについて説明
- ・以降、質疑応答

(委員) p2「上田市の人口推計」は、p17「自然増減・社会増減の影響度の分析」の人口推計パターンのうち、どれに基づいているのか。

(事務局) p17の人口推計は、平成27年10月に作成した上田市版人口ビジョンによる。現在、総合計画策定のために、新たな人口ビジョンを作成中である。p2の人口推計は現行の人口ビジョンではなく、国立社会保障・人口問題研究所（社人研）の最新の推計に準拠して作成したものである。最新の人口ビジョンができ次第、委員の皆様にお示ししたい。

(委員) 最新のデータに基づいて人口ビジョンを作成していただければと思う。

(委員) バックキャストिंगの考え方を説明いただいたが、どの人口ビジョンを将来像として設定して、そこからバックキャストしようと考えているのか。

(事務局) 上田市版人口ビジョンは、社人研のものとは異なる上田市独自のものであり、こうした数値も参考にする。また、将来の人口ビジョンの数値を基にして、どのような施策が考えられるか皆様が審議いただきたい。バックキャストिंगの考え方と言うと、未来の姿に向けた大きな方向性を持った施策について、委員の皆様から色々な御意見をいただきたい。

(委員) p17のシミュレーション1及び2をみると、合計特殊出生率が2.10まで上昇すると仮定しているが、現在1.5程度であることを考えると、高い目標となっている。まず、人口をどこに定めるのかが、他の施策を考える上で重要だと考えられるので、そのあたりの方針を出していただけるとありがたい。

(事務局) 現在の日本の合計特殊出生率を考えると、2.10は高めの数字だと思う。自然増減、社会増減の状況を見ながら、策定中の人口ビジョンの数値をどうしていくのか慎重に検討して設定していきたい。

○協議結果：事務局の説明のとおり今後の審議の参考とすることで承認いただいた。

4 事務連絡

- (1) 本日の部会について
- (2) 次回審議会（第3回部会）の予定
- (3) その他 「持続可能な上田を考える会」の案内・依頼

5 閉会